

札幌市長

秋元 克広 様

北海道におけるグローバルレベルのMICE都市確立に向けた

受入施設の整備・促進に関する要望書

北海道経済連合会

北海道商工会議所連合会

平成27年12月 7日

北海道におけるグローバルレベルのMICE都市 確立に向けた受入施設の整備・促進に関する要望

国際会議や展示会等MICEは単なる観光の延長線ではなく、ビジネス客や研究者を呼び込むことでビジネス機会やイノベーション創出に繋がる一大ビジネスイベントで、同時に国内外に向けた貴重な情報発信の場である。そして地域に直接的な経済波及効果をもたらすほか、地域ブランド力の向上や観光を含めたりピーターの獲得にも寄与する。近年、アジアをはじめ多くの国がMICE、とりわけ国際会議の誘致に官民を挙げ取組みを増しており、都市間では勝ち残りをかけた熾烈な国際競争が繰り広げられている。

政府は本年6月「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」を閣議決定し、訪日外国人観光客2,000万人時代の早期実現に向けCIQ体制の強化など各種方策を決定した。一方、札幌市は本年7月「グローバルMICE強化都市」指定を受け、今後のMICE誘致・開催に弾みがつくものと期待される。

北海道においては「さっぽろ芸術文化の館（札幌市中央区北1条西12丁目）」が大型MICE施設として利用されてきたが、老朽化のため2018年度を目途に営業を終了、解体される。このため、受入施設の整備は喫緊の課題である。MICEには都市の魅力に加え、会議・ホテル・商業等の施設がコンパクトに纏ったエリアにあるなど、利便性の高さが決定の条件となる。

これらを総合的に考慮した場合、北海道においては「札幌市都心部」にMICEの中核をなす新たな大型会議施設を建設することが望ましいと考え、以下を要望する。

要望項目

1. 新たなMICE拠点となる会議施設は現在の「札幌市都心部」とし、早期に検討に着手すること。
2. 検討にあたっては利用者（主催者）との意見交換等を通じ施設や設備に対するニーズ把握を行うほか、行政関係者は施設の利便性向上のため国内外の先進事例を視察し施設計画に反映させること。

平成27年12月 7日

北海道経済連合会 会長 大内



北海道商工会議所連合会 会頭 高向

